

波 紋

1997 8 月 第146号

ドーム決戦

森松 スポーツ

蛙打線



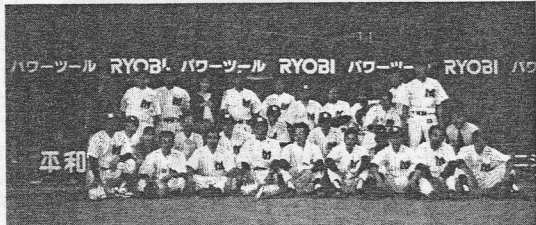
真打に泣く

7/4夢の名古屋ドームで行われたアスク(株)様との親善試合は、森松が一安打に抑えられ1-6の完敗に終わった。

ドームの中で記念撮影

〔森松先発メンバー〕 ①開始18:30・観衆85名余①

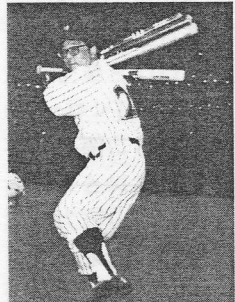
森松	0 0 0	0 1 0	1
フロガーズ			
アスク	0 0 6	0 0 ×	6
グランパス			



無駄な四球反省
エース光田はスピードよりも制球力で勝負するタイプ。しかし3回裏めずらく四球から壊れてしまった。どうやら3回表の攻撃で自ら盗塁を行い、その時の息切れが後をひいてしまったようだ。これからの走り込みを期待したい。

光る一安打坪井
このまま手も足も出ずに終わるかと思われた5回、四球で出塁した伊東が2つの盗塁を決め三塁まで進んだ好機に、ベテラン坪井が三遊間にクリンヒット。0封は免れた。

横山こけて終わる
最終回になった6回表、四球を選んだ横山が2死からなんと盗塁成功。この間に送球がセンターまでそれと見るや果敢に三塁を狙おうと走り出したのだが、まるで歩きだした赤ちゃんが転ぶようにキレイにグラウンドに四つんばいになりタッチアウト。両チーム爆笑のゲームセットになった。



打席には入る前に気合いの入る伊東

「ウォー」と誰もが感声上げた。ネット裏からアリーナに入ったとたん鮮やかな人工芝が目にとびこんできた。その瞬間誰もが野球少年のような瞳になったのだ。

しかしフレールボールの音がかかると、借りてきた蛙状態。森松ナインの緊張は高まり失点の理がつかの間に相手にたたみ込まれ、ナインは野球をまだしたりないという表情でドームを後にした。

感動・緊張・悔し涙
の緊張は高まり失点の理がつかの間に相手にたたみ込まれ、ナインは野球をまだしたりないという表情でドームを後にした。

レポーター(妹尾)

親の責任・先生の態度

神戸の事件を含め、子供の犯した犯罪に對し、何やらすっきりしない気持ちが残ってしまう。それは親と学校の担当教師のコメントがはつきり発言されていないからです。

現代社会が悪いとか、映画、テレビ、会社が悪いとか、教育制度が悪いと言うだけで、当事者のコメントが曖昧なのは解せない。

人間の本性は、善と悪の両方があり、世の中には良い人と悪い人の両方がいる。「信用できるまで軽々しく信用してはいけない」「初対面から信用し、騙されてから初めて気付く」このないようにな、親も教師も責任を持って子供達に教えるなければいけない。

親として教師としてその義務を果たさなかつたら、その償いは自らキツチリと付けることが必要だと思えます。

悲しい事件が起きると、家庭が、社会が、学校が悪かった！悪いのは全て制度や組織や会社になすりつけて「一件落着」にしてしまう。もっと具体的に現実的に現場の声を発表する習慣を持ちたいものだ。

「他人のせい(所為)にしない」
「問題が起きたら、なぜ、なぜ、何故、を三回以上言って考える。」
モーリン語録より

森 信之

トシ君の一方通行 便利になった

昔のお父さんは出張になりますと、喜んだものです。朝家族の皆に「おい、行ってくるぞ」と言いましたら玄関に家族がならんで見送ったものです。一日目に大阪あるいは東京から特急で東海道本線を八時間かけ到着。早速同僚と待ち合わせ居酒屋で痛飲してストレス解消。二日目はゆつくり仕事しまして、夕刻同じく居酒屋で仲間と情報交換。三日目は少し早く起きまして、駅で三分の日当で家族にお土産購入。列車の中で冷えたビールとエロ本。ほろ酔い気分で仮眠をとりまして。食事時には帰宅。土産を見て喜ぶ子供たち。そして嫁が「あなたお疲れさまでした」と酒を注ぐ。お父さんは満足そうな顔をして「明日も頑張るぞ」と言ったものです。さて時代は変わりました。昨今お父さんの主張は早朝1時半起床。朝一番の新幹線に乗車して。到着後即上役に会議でいびられ。その上役と共にリストラにおびえ、OLからはハソコンが出来ない不潔なおじさんと馬鹿にされ、散々会議で絞られた後、同僚と上役の悪口というつまみで不味い酒飲み、ふうふういいながら新幹線でとんぼ帰り、帰宅は深夜で家族は既に高いびき、お父さんは疲れきった顔して生ぬるいビールを飲むのです。いやあ便利になったという事は疲れるものですなあ。ちょっとそこのお父さん、笑っている場合じゃありませんぞ。

木村英利

森松クインテット じり

最近のニュースは悲しいことはかりだし、仕事のほうでもストレスが溜まりがちな感じがあります。休みに家でテレビを見ていても、暗くなってしまう感じました。本格的ではないのですが、キスとかを狙っています。釣れない日はやはり辛いのですが、バーベキューセットを整えていったときは、気合いが入ったせいか、キス・カレーなどの大きな魚が釣れました。刺身・塩焼きで食べ最高な一日となりました。バーベキューセットやアウトドアセットにしても最近では安く買えるようになり、一層手軽に出来るようになったと思います。折畳みのイスは1脚七五〇円とかですし、便利な物も多くあります。また先日は、会社恒例のイカ釣りにも出席させて頂きました。私は二回目で今年はいにく雨でしたが、結構楽しかったです。船頭さんは昨年と同じ酒飲みのおやじさんで、光田君が年をとった様な感じで味がある人です。苦いお姉さんを乗せるのは久しぶりだったらしく、張り切っていました。その代わり収穫はいまいちで終わりましたが、しかし、こちらの船のメンバーは初めての人が色々体験でき、満足できたと思います。その中でも一番の満足は、やはり船上で食べた刺し身だったと思います。大きな真イカで、すごく甘く美味しかったです。またの機会があれば、是非行きたいと思っています。よろしく。(ついでに)

山口隆弘

喜怒哀楽 くまどきのおもちゃ

流行り物に目敏い我が家の子供達は、今「たまごっち」というゲームに夢中になっています。何でも抽選に応募して当たらないと買えない程の人気のおもちゃだとか。どんな内容の物かというところ、画面の中のベット？動物に餌を与えて育てるそうです。等と簡単な物ではない。このおもちゃ、うんちはするし、機嫌はそこねるは、病気になる、あげくに死んでしまうという。何とも手の掛かる代物で、遊ぶというよりは面倒を見る気持ちが必要で、付き合えない代物です。育て方によっては様々なキャラクターに変身することが楽しみなようで、「にようち」だの、「くちたまっち」などと舌をかみそうな名前。中には「おやじっち」などと大人を食ったものまで有るみたいです。考えると、うちの子供達は生き物を飼ったことがない。仮想体験としてこうしたおもちゃに熱中するとしたら問題です。なぜなら動物特有の温かさ、愛情を理解することもない、架空の生き物だからです。生き物を育てていく過程で大切なことをこのおもちゃでは教えてはくれません。などと思うのは親のとりこし苦勞ですかね。近い将来、家庭事情も考えながらも、本当の生き物を飼わせて見ようかと思っっています。大切な事を学ばせる為にも。

成瀬勝英

ARLON社 来社 (アメリカ)

(ア - ロ ン)

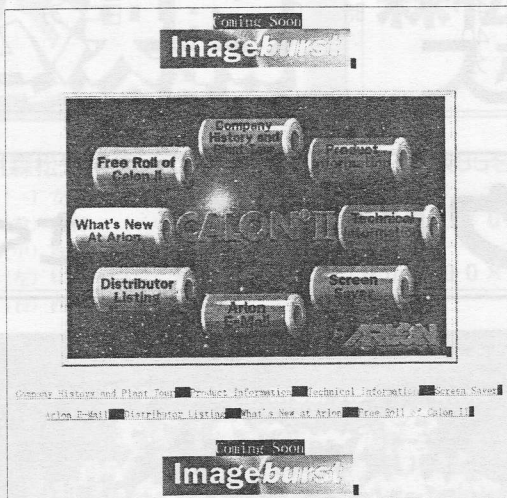
アメリカの大手カッティングシートメーカーであるアロン社から副社長のガナデン氏、国際販売部長のケリハー氏の2名が6月26日夜の便で来日されました。

聞かせていただき、両氏とも日本の加工現場を見ることができ、喜んでくださいました。

アロン社は、既に世界で40カ国以上に製品を輸出しており、全米でも業界第3位の実力会社です。日本大手企業との技術提携契約(アロン社が先生)が切れるのを期に日本市場へ進出することになり、当社が日本総代理店として販売を行うこととなります。

夜は、しゃぶしゃぶです。偶然両氏とも好物とのことで、刺し身もすしも天ぷらも食べ、木村常務の日本語とガナデン氏の英語が酒が入ると見事に通じるといふ伝説も確認でき、大変楽しく過ごすことができました。

ケリハー氏が翌日「日本人は普段からあんなにたくさん種類を一度にたべるのか。」とたずねるほどでした。



翌27日は、時差ボケにも負けずに朝から当社の4階にて商談を行いました。日本市場での価格・サイズなどとアロン社のものとの比較や、カタログ作成費や広告宣伝費の分担、出荷時に使用する箱の作成費など実にさまざまな課題が話し合われました。アロン社の新製品であるインクジェット用のメディアの紹介も行われました。

両氏とも大変お忙しい方で28日朝にはソウルに向けて出発しましたが、森松がアロン社の日本総代理店として活動する意志のあることは、充分確認していただきました。

皆様 アロン社のカッティングシートをよろしくお願いたします。

(ARLON社のホームページアドレス：

<http://www.arlon.com>)

(さくらんぼ) 西口悦史



(シクラメン) 鳥羽幸治

先日、あのナゴヤドームのグラランドに立つことができました。

自分が絶対に立つことのないと思っていたグラランドに立つことが出来、本当に夢みたいな出来事でした。

小さい頃から、好きで見えていたプロ野球の選手が、実際に使用しているグラランドで野球をしてみて、人工芝の鮮やかな綺麗さ、じゅうたんの様なやわらかさ等、常に見る物、触る物が自分にとって、初めてで改めてそれほど興奮してやっていたのかなと今になって思いました。

又、自分が子供の頃の気持ちに返れて本当に楽しく、野球がする事が出来ました。これからもスタンドでプロ野球を観戦する事があるとは思いますが、もう一度グラランドに立つ事が出来ればこんな幸せな事はないなと思いました。

暮らしのエッセイ
憧れ

平成9年 8月の社内行事

30日(土)	28日(木)	//	//	25日(月)	21日(木)	20日(水)	18日(月)	14日(木)	17日(日)	13日(水)	10日(日)	9日(土)	8日(金)	4日(月)	3日(日)	2日(土)
改善発表会	編集会議	瞑想	営業会議	経営会議	生産会議	楊さん入社	改善会議	副重さん誕生日	夏季休暇		松本さん誕生日	第二土曜日休み	中嶋さん誕生日	誕生会	大黒さん誕生日	第一土曜日休み
13時	18時	18時	17時	7時半	17時40分		18時							12時		

サークル紹介 さくらんぼ

サークル長 稲葉マネージャー 入社15年5ヵ月

入社7ヵ月 西口さん

入社6ヵ月 服部君

入社9ヵ月 仁野さん

入社4年 谷口さん



私達「さくらんぼ」は、森松産業㈱の事務部門を担当しています。五名で平均年齢三十才、平均勤続年数は四年と、とても若いサークルです。入社一年未満のフレッシュマンが三名いますので、新鮮な目でいろんな角度からどんな改善をしていきたいと思えます。みなさんよろしくお願いたします。

稲葉友昭

第5回「元気が出る森松展」

10月2日(木)～3日(金)

森松は今年も元気をお届けします

新しい商品
新しい素材

編集後記

七月十五日付をもちまして、一身上の都合により退社する事になりました。七年と三ヶ月の間でしたが、皆様には大変お世話になり、感謝しております。

人間形成は、環境や友人、逆境、師との出会いなど様々ありますが、私が森松で過ごした時間はこれからの人生に大変役立つと思います。「モーリン語録」の中には、たくさん貴重な言葉がありますので、忘れずに頑張っています。本当に、有難うございました。



高橋武夫

編集発行者
森松株式会社

編集責任者
森下友博

平成9年8月1日
第146号